

前回につづいて、展示品の一部を紹介いたします。

しゅさんしょうこく たけびつとう
朱三松刻 竹筆筒

朱三松は、中国の明代末(17世紀前半ころ)に活動した竹工職人です。竹彫刻では中国第一といわれ、台湾の故宮博物院にも作品が所蔵されています。



ついでしゅぶんこたんす
堆朱文庫篋筒

朱漆を塗り重ねてその上から彫刻を施した「堆朱」という技法の作品です。中国で皇帝の象徴とされる「五爪の龍」が描かれており、皇帝御器(皇帝の所持品)だったと思われます。



とぎんほうかくきくほちにゅうきょう
鍍金方格規矩八乳鏡

銅の鏡に鍍金を施したもので、2,000年以上前の中国漢時代に作られたものです。

同じものが京都の国立博物館と、住友博古館に所蔵されています。



会期	6月22日(日)まで
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
休館日	6月2・9・16・17日
観覧料金	
一般	600円(420円)
高校・大学生	400円(280円)
小・中学生	200円(140円)
※()内は20名以上の団体料金です。	

日時 6月8日(日)
午後1時30分
場所 ミュージアム都留 研修室
参加費 500円(材料代)
持ち物 彫刻刀
定員 30名(要予約)
申込締切 6月6日(金)

「オリジナル印章」作り教室
印材を彫って自分だけの印章をつくってみませんか？ 自分で書いた絵や書の隅に捺したりできま。柔らかい印材なので彫りやすく自由な表現ができます。印面だけではなく、鈕(ツマミ)の部分も自分だけのデザインのものを作れます。

春季特別展・関連イベント

ミュージアム寺子屋講座受講者募集

- 郷土史講座
内容 「ふるさとの地名考」
日時 6月～10月の第4日曜日 午前10時～11時30分
場所 ミュージアム都留 研修室
※第一回講座 6月22日(日) 講師 小林安典
- 古文書教室
内容 「秋錦録を読む」
日時 6月～10月の第2日曜日 午前10時～正午
場所 ミュージアム都留 研修室
講師 清水正賢
※第一回講座 6月8日(日)
- 村絵図を歩く
内容 「小山田氏ゆかりの寺を巡る(仮)」
日時 8月20日(水)以降9月～12月の第3日曜日 午前10時～正午
- 芭蕉月待講座
内容 「素堂とその系流」
日時 7月～10月の第4火曜日 午後6時30分～7時30分
講師 楠元六男(都留文科大学教授)
※第一回講座 7月22日(火)予定
※参加費は無料です。
※当日参加も可能ですが、資料の準備などのため、事前の申し込みをお願いします。

谷村中学校時代の絵 50年ぶり回顧展
～37作品、教師から教え子に返還～

昭和23年から26年頃、谷村町立谷村中学校(現都留第一中学校)の生徒が描いた絵画37点が、当時の美術担当教師から教え子に50年ぶりに返還されます。

教師は、現在青梅市在住の画家樋口三木雄さん(78歳)。返還される抽象画や風景・生物写生の作品は、大事に保管されてきたので、歳月の色褪せをあまり感じさせず、今なお新鮮な印象を保っています。

この「タイムカプセルの宝物」にも等しい作品展を開催します。多くの皆さんのお越しをお待ちしています。また、12日には、教師から生徒に絵を返還するセレモニーもあります。

回顧展	
日時	7月6日(日)～12日(土) 午前9時～午後4時 (7日は休館。12日は正午まで)
場所	ミュージアム都留
内容	原画を50年前の表装のまま展示 12日は午後1時から絵の返還セレモニー

お知らせ

館内燻蒸のため、7月1日(火)～5日(土)は、休館いたします。

問合先

都留市博物館「ミュージアム都留」
☎(45)8008・☎(45)8608
分館増田誠美術館(ふるさと会館2階)
☎(45)4111